

# ようこそ 図書館へ

第2号

2007年4月  
津市図書館

おもな内容

- シリーズ図書館活用法(3)
- シリーズ図書館の仕事(1)
- レファレンス事例集
- 知ろう私たちの郷土



いっしょに、読もうか



図書館の風景を切り取った  
1コマです。  
どこの図書館かわかるかな？

津市図書館ホームページ  
「今週の図書館」より

こたえ：①きらめき図書館 ②一志図書館 ③津図書館 ④芸濃図書館 ⑤安濃図書館 ⑥ポルタひさいふれあい図書室



津市図書館ホームページ  
<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>



# 予約・リクエストサービス



何をお探しですか？



〇〇の本を探しているのですが、見つからなくて。

貸出中かもしれません、お調べいたします。

## ●借りたい本が見つからないときは、お気軽に図書館員にお尋ねください●

もし、貸出中だったら・・・

### 予約サービスのご利用を

お探しの資料が貸出中の場合、予約をしていたらと優先的に資料を借りていただけます。資料がご用意できましたらお電話で連絡いたします。

### リクエストサービスを

お探しの資料を図書館が所蔵していない場合は、リクエストサービスをご利用ください。その資料を購入し、ご用意できるとお電話で連絡いたします。

ただし、すべての資料が購入できるわけではありません。購入できない場合は、他の図書館から借受けてできるだけ資料をご用意いたします。

## よくいただくご質問から

Q. 予約・リクエストは何点までできますか？

A. お一人10点までできます。借りていただく方のお名前でお申し込みください。

Q. 予約を入れてもなかなか借りられないことがありますか？

A. 予約を入れていただいたときに、すでにほかの方からの予約が入っていることがあります。受け付けた順になりますので、ご自分の順番が来るまでお待ちください。資料が用意できましたらお電話で連絡させていただきますが、連絡してから、7日間はお取り置きさせていただきます。この期間内に借りにきていただけないと、キャンセルとさせていただきますのでご注意ください。また、先に借りていただいている利用者の方の返却が遅れている場合があります。ご迷惑をあかけしますが、図書館ではその都度督促をさせていただいて、少しでも早く提供できるようにさせていただいています。

Q. リクエストした資料が遅いのですが？

A. リクエストの場合は、購入手続きをして図書館に資料が届くまでと、貸し出しができるように整理するまでに多少お時間がかかります。必ず連絡をさせていただきますのでお待ちください。なお、リクエストにあたっては、書名、著者名、出版社など正確な情報が多いほど早く提供ができますのでご協力お願いいたします。

●詳しくはカウンターやホームページ、お電話等でお尋ねください●

# 講演会ができるまで



とよたかすひこさん講演会（一志図書館）

## START

### ①講師の方の決定

限られた予算の中で考えなければならないので難しいですが、職員が他館の司書の方に相談したりしながら考えます。連絡は出版社の方に間にあっていただけて連絡をとっていただくことが多いようです。

### ②講師の方への依頼

直接お手紙を書き、図書館での講演会をお願いできないか打診します。その際には具体的に日程・時間・予算の金額などもお知らせします。条件をお伝えして承諾していただいて、ようやく講演会準備のスタートラインに立ったと言えます。

### ③事務上の手続

決定した日程やどんな講師の方をどんな目的でお呼びするのか、といった事を明確にして事務上の手續をします。それと同時に会場として使いたい場所の仮押さえもしておきます。

### ④開催に向けての準備(1)

開催が決まったら、より多くの人に参加していただけるよう、お知らせをします。まず、月1回発行している広報紙に情報を掲載しますが、整理券を配布するのであれば、配布開始の日程も考慮に入れ、最も良いタイミングの広報紙に合わせて原稿を作成します。また、同時に配布用の整理券のほか、ポスターやチラシなども作成し、他の図書館や関係機関に掲示をお願いします。

### ⑤開催に向けての準備(2)

④の準備と同時進行で講師の方との連絡もこまめにとり、講演会の内容や準備物、会場などについて打ち合わせをおきます。講師の方によっては会場の椅子の配置や、準備物についても細かく指示されることもありますので、なるべくご希望にそえるよう準備を進めます。

### ⑥整理券の配布開始

設定した期日から整理券を配布し、受け付けをします。人気のある方の講演会では1時間ほどで定員一杯になることもあります。

### ⑦講師の方との最終打ち合わせ

講師の方と当日の到着時間や準備物、講演会の流れまでを細かく打ち合わせをします。こまごまとした事柄までチェックしていくと、ぎりぎりまで連絡をしたりします。

### ⑧会場設営、準備

会場が使用されていなければ、講演会前日に会場の準備をします。講師の方から指示のあった準備物や当日使用するマイクなどもテストし、撮影許可をとっていたら撮影用の準備もしておきます。また、職員が司会をしますので、その原稿も作成しておきます。当日手伝ってもらう他のスタッフにも講演会の流れを説明し、後は当日を待つばかり。

### ⑨講演会当日

いよいよ当日です。講演会本番に向け会場や流れの最終確認を行ないます。講師の方が到着されたら、まず会場の下見と最終チェックをしていただきます。そして、開場時間になったら受け付けの開始です。整理券とお名前で確認し、順に席に着いていただき、人数もチェックします。時間になつたら講演会の始まりです。お話が終わりましたら、終わりの挨拶をして、講演会は終了です。

### ⑩後片付け等

講師の方を送迎する必要がある場合はお送りし、会場は元通りに後片付けをします。後日、講師の方への礼状発送などを済ませたら講演会開催の一連の流れは終了です。

毎日の生活のなかでの疑問や、調査・研究のための調べ物のお手伝いをします

# レファレンス 事例集

こんな  
レファレンスが  
ありました！

Q. 佐渡の歌で、「海は荒海、向ふは佐渡よ～」という出だしの歌のメロディが知りたい。

A. 「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部(岩波書店)に、歌いだし索引あり。題名「砂山」ということがわかる。さらに、「日本のうた 第1集」(野ばら社)で「砂山」を調べると楽譜あり。

Q. 「ユニバーサル・デザイン」の意味は何か。

A. 「現代社会福祉用語の基礎知識」(学文社)によると、従来、バリアフリーがある特定の利用者を意識した既存のバリアを前提とするデザインであったのに対し、年齢・性別・能力・障害のレベルなどを超えて「できる限り最大限すべての人を利用可能な製品・建物・空間をデザインすること」をめざす。1990年、ノースカロライナ州立大学ユニバーサルデザインセンター所長マイスによって提唱された。

Q. カリウムの摂り方について知りたい。腎臓のためにカリウムを含んだ食品をとるように心がけているが、どういう摂り方が望ましいのか。煮ると成分はなくなるのか。

A. 「栄養の基本がわかる図解事典」(成美堂出版)、「ビタミン・ミネラルBOK」(新星出版社)、「香川靖雄教授のやさしい栄養学」(女子栄養大学出版部)などに一部記載あり。カリウムはミネラルの一種。ナトリウムを排泄する働きがある。野菜や海藻や果物などに含まれる。煮ると栄養成分は30パーセント程失われる所以、汁ごと食べるほうがよい。

Q. プロポリスについて知りたい。

A. 「世界大百科事典」(平凡社)によると、ミツバチの巣箱のすき間や内部の壁に付着しているねばねばした黄緑色から暗茶褐色の樹脂様物質とある。「食材健康大事典」(時事通信社)には、病原菌から巣を守るミツバチの知恵の結晶であることや、生理機能成分についても記載あり。「健康食品全書」(ブレーン出版)には、効用・効果についての記載あり。また、各研究者の貴重なデータを盛り込んだ図書として、「予防医学の権威がすすめる健康食事典」(朝日新聞社)を紹介した。



## 図書館員のひとりごと

### 今度の「特集コーナー」は？

今時分、みなさんが、いちばん読みたいと思うテーマは何だろうか？と考えつつ、その季節、時期に応じた『使える』、『読みたい』本を揃えて提供するのが「特集コーナー」。小さいけれど楽しい我が図書館

(美里図書館) のカウンター前。左側に新着本のコーナー。そして、右側に負けじ(?)とあるのが「特集コーナー」。

ここは頻繁に入れ替えをしていて、本当に数週間しかお目見えしない時もあるので、利用者のみなさんには要チェックです。このコーナーの本がみなさんのお目にとま

り、貸し出され補充が忙しいほど、私たち図書館員はうれしくて思わず顔がニヤニヤします。数年前に発行された図書でも、オススメしたい本がたくさんあります。そういう場合もこのコーナーに置かれます。「特集コーナー」は、ある意味、図書館員の腕の見せ所かもしれません。

# 知ろう私たちの郷土

## 津市河芸図書館の郷土資料

## 中川 豊

戦国末期、河芸は織田信長の伊勢侵攻に伴い、弟信包の勢力下となつた。まもなく信包は津城へ移転し、慶長2年(1597)には分部氏が上野城(河芸町内)を領すこととなる。以後、元和5年(1619)に近江大溝への移封まで、分部氏が河芸一帯を支配することとなる。その後は紀州藩領となり、幕末まで伊勢街道の宿場として栄え、農業・漁場を中心として発展していった。

現在、河芸町浜田には津市河芸図書館がある。館内の二階には資料展示室があり、戦前・戦後の生活道具を中心に、甲冑・槍・天明期(1781-1789)の国友火縄銃、標本、化石など、河芸の歴史を物語る文化財が展示されてある。中でも注目したいのが14点ほどの馬術書の存在である。これは、上野に居を構えた豪農秋田家の旧蔵で、昭和63年9月に図書館へ寄贈された。現在、河芸町指定文化財となっている。同家の秋田弥左衛門嘉柔(1828-1890)は、津の土井聲牙に漢学を学び、千葉常胤の門に入り剣道を学んだ文武両道の人物である。では、この馬術書について粗々紹介したい。

『大坪流竹中伝』(B211-1~14 写真1)は、「息問卷」「歌之卷」などといった大坪流の書籍13冊より成る。大坪流とは、室町より明治時代まで続いた馬術の一派である。『文久元年辛酉歳 初段以上名録』(B213-2)は、剣術の初段以上の名簿録で、藤堂出雲以下23名が名を連ねる。箱書きは、十世森内政徳。森内家は秋田家支流という。『馬生州所之覚』(B213-7)は、全国の馬の産地と焼き印の形を記す。『安驥集』(B214-1~7)6冊は、馬病の療養法を記した獣医書。B209-1~5の資料群は、森内孫市(政義)・

通三郎らが、高畠庄右衛門など各門人へ与えた伝授書の写しと思しい。『大坪斎藤両家之系図』(B210)は、源義家より繋がる大坪流の系図。この他『大坪流手綱目録』(B213-8)\*奥書「文政九丙戌年仲秋吉辰日 森内政醇謹書」)、『八条流細野伝馬書』(B



写真2『大坪流大系図』

208-1~17)16冊、『大坪流大系図』(B212-1・2 写真2)などが見られる。馬術書以外では、『よもきふ』(B153-1・B153-2)の写本2点に注目したい。本書は芝山持豊、村田春海、北村季文といった、当時の歌壇で重きをなした人物三人が添削を施した、松平定信(1758-1829)の和歌詠草。定信の詠草集『三草集』の1つ。写本2点の関係は、B153-2を忠実に転写したのがB153-1。おそらく貸し出したものを転写した後、返却しなかったために、同様のものが2点残ったと推測される。

秋田家以外の特殊コレクションとしては、河芸町漁業協同組合文書(昭和30年代から60年代にかけての水揚帳・役員会議録・豊津漁業組合規約ほか190点)、弥尼布理神社文書(明治から戦後にかけての収入証書・社費収支決算報告書など80点)などがある。さらに寄託資料として、笠井家の資料(法帖・往来物・仏書・墓石など書籍65点と文書)がある。笠井家資料では、例えば『落穂集』(書9\*江戸後期写)・『本朝武家評林』(書7)『通俗戦国策』(書3)などといった通俗的な読み物が見られる。

津市河芸図書館には郷土資料室に展示されている以外にも、地元生活道具、古典籍、文書などを多数所蔵している。これらは、『河芸町史』を編纂した際に地元旧家人達の熱意によって寄贈、寄託された貴重な郷土資料であることを、あらためて特記しておきたい。

参考文献：河芸町郷土史(河芸町郷土研究会編、昭和53年)

三重先賢伝(浅野松洞編、昭和56年11月 復刻版)

まちの文化財(河芸町教育委員会、平成6年3月)

写真1『大坪流竹中伝』





## 休館日・開館時間などの ご案内

※下記の休館日のほかに特別整理期間（年1回、14日以内）や、臨時に  
休館・開館することがあります。詳しくは、各館の図書館カレンダー  
や図書館たいむず、津市図書館ホームページなどをご覧ください。  
津市図書館ホームページ (<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>)

館名	開館時間	休館日
<b>津図書館</b> 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内 TEL 229-3321	平日 9:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>久居ふるさと文学館</b> 久居東鷹跡町2-3 TEL 254-0011	平日 9:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 12月28日～1月4日
<b>ポルタひさいふれあい図書室</b> 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内 TEL 254-0464	平日 10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00～18:00	12月29日～1月3日
<b>河芸図書館</b> 河芸町浜田782 TEL 245-5300	10:00～18:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日(土・日曜日にあたるときはを除く) 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 12月28日～1月4日
<b>芸濃図書館</b> 芸濃町棕本6824 津市芸濃総合文化センター内 TEL 265-6004	9:00～17:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときはを除く。) 12月28日～1月4日
<b>美里図書館</b> 美里町三郷51-3 津市美里文化センター内 TEL 279-8122	9:00～17:00	火曜日 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>安濃図書館</b> 安濃町東觀音寺418 津市サンヒルズ安濃内 TEL 268-5822	10:00～18:00	毎週火曜日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>きらめき図書館</b> 香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内 TEL 292-4191	9:00～17:00 (7・8月の平日は 18:00まで)	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたるときはを除く) 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>一志図書館</b> 一志町井関1792 津市とことめの里一志内 TEL 295-0116	10:00～18:00 (7・8月の平日は 19:00まで)	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 12月28日～1月4日
<b>うぐいす図書館</b> 白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内 TEL 262-5000	平日 10:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
<b>美杉図書室</b> 美杉町八知5828-1 津市美杉総合開発センター内 TEL 272-8092	9:00～16:30	土・日曜日 祝・休日 12月28日～1月4日

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第2号

発行日／平成19年4月1日 編集及び発行／津市教育委員会 津市津図書館  
三重県津市西丸之内23番1号津リージョンプラザ内 TEL (059) 229-3321